

NextStep



平成31年1月15日
県事研研究部

No.30

こんにちは、県事研研究部です！

月日が経つのは早いもので、秋季研究会からもうすぐ2ヶ月経とうとしています。研究会の1日を通して、前向きになった気持ちは今も続いていますか？落ち込むときがあっても、研究会や仲間を思い出して、またがんばりましょう。

今回のNext Stepは秋季研究会特集です。各分科会の様子などをお読みいただき、気持ちを新たに進んでいきましょう。

全体会

講演 演題 「従事する」から「つかさどる」へ事務職員に求められる役割と資質の向上
講師 愛知教育大学 教育支援専門職養成課程 准教授 風岡 治先生

「従事する」から「つかさどる」へ。チーム学校や働き方改革など学校をとりまく環境が変化していく中で事務職員に求められる役割とは何か、求められる役割を果たすためにどのように行動すればよいかご教授していただきました。

ハードルが高いと思えることも、学校の教育目標を読んでみたり、先生方と積極的にコミュニケーションをとったりすることで、教材整備など、業務改善への新たな気づきにつながります。気負わずに、自分がやれると思うところから、始めてみたいですね。

第1分科会

テーマ 事務財務要領を作成（見直し）してみよう！（学校事務機能の強化）

財務の統括者として必要なポイント等をみんなで考えながら、「会計処理の手引き」から一步進んだ市町共通の財務要領を作成することを目的に、前半の財務研修、後半のグループディスカッション（学校経営と財務要項について）の2部構成で行いました。

大野市陽明中学校長 青木俊文様のお言葉

「学校徴収金に関するお便りや事務財務要領の作成がゴールではいけない。それらをツールとし学校事務共同実施を活用して、三方よし（自分よし、相手よし、みんなよし）を目指してほしい。そしてそれが子どもたちの支援につながることを忘れないでほしい。」

第 2 分科会

テーマ 学校経営と教育予算における業務改善 (学校経営と教育予算)

前半は福井市学校教育課長 小林 真由美 様に、福井市の業務改善の取り組みについてお話しいただきました。業務改善の意義や福井市での具体的な方策を学ぶとともに、モチベーションの向上につながりました。

後半では「学校のいろんな課題を学校予算の面から事務職員として業務改善できることを考えよう！」というテーマのもとグループワークを行いました。さまざまな地域や経験年数の方が集まりましたが、小林課長と小林福井市事務職員部会長にも参加していただき、活発な意見交換が行われました。とても有意義な時間になったかと思います。

第 3 分科会

テーマ 『継承』～ 事務の心得～

世界遺産< World Heritage >ならぬ事務遺産< Jimu Heritage >を受け継ごう (学校事務の協働と連携)

経験によって蓄積された能力や各自が開発、研究してきた仕事方法を紹介し学びあい、学校事務の仕事に特化し「販売を前提とした『事務手帳』」を考えました。その後、先輩事務職員の知識と経験に基づいた仕事のノウハウを紹介し、各班が作成した手帳の目次や、先輩事務職員が紹介した内容の実物(情報満載の手帳・引き継ぎに使える記録等をまとめたファイル・条例等の情報収集ファイルなど) を閲覧しました。

参加者の感想

「いろいろな事務職員と情報交換ができて有意義な時間が過ごせました。」

「普段は人の手帳を見せてもらうことはできないので、今回の機会はとても貴重な体験になりました。」

第 4 分科会

テーマ 視点が変われば、意識が変わり、さらに教育も変わる？

～カリキュラムマネジメント力をつけよう～ (学校事務の組織化)

カリキュラムマネジメントについて概要と事例を紹介し、各グループで事例を元にロールプレイングを行いました。また、ロールプレイングを行ったメンバーで各学校の課題を話し合い、解決策を模索しました。

・参加者の感想

「行政的な視点だけでなく、自分なりの教育的視点を交えながらこれからの業務に当たっていきたいと思いました。」

「学校行事や教育内容にもう少し気を配るようにしていきたいと思いました。」

・愛知教育大学准教授 風岡 治様のお言葉

「今回学んだことを自分自身の知識としてインプットするだけでなく、管理職や他の教職員に話すなどアウトプットを意識することで、自分の中の理解が進む。積極的にコミュニケーションを取ってほしい。」